

令和6年度の改善方策について実行した改善結果

令和6年度の重点目標に関する改善方策の結果についてご報告いたします。

印：目標達成

印：昨年度比増

印：注意

重点目標1 一人一人を大切にすることを推進する。

学習指導、生活指導をはじめ、あらゆる教育活動において、生徒一人一人を大切にすきめ細やかな指導を行い、すべての生徒が充実した学校生活を送ることのできる教育を推進する。そして、生徒の学校生活満足度の充実を目指す。

<数値による指標> 学校関係者評価アンケート、各学力調査等を分析し検証を行う。

【具体化のための方策】

- ・小規模校であることを生かし、担任や学年を越えて、地域や保護者も含め、複数の目で生徒を見守ることで、一人一人を大切にすることを進めていく。
- ・学校支援地域本部の活用を広げ生徒の個別対応やボランティア拡充、読書活動推進等、より一層の充実を図る。
- ・一人一人に視点をあて、激励、指導助言をする中で主体的に物事に取り組む姿勢を育成する。
- ・自分で考え、判断し取り組ませるなかで自尊感情を高め、自己肯定感や自己有用感を養う。

【改善結果】

		目標	1年	2年 (1年次)	3年 (2年次)	計(昨年)
①	一人一人に学力が身につく授業が行われている。(生徒)		72	76	91	81%
②	困った事があつたら誰かに相談することができる。(生徒)	80%以上	86	81 (84)	86 (74)	84%(82%)
③	生徒一人一人に学力が身につく授業が行われている。(保護者)		48	27	62	47%

※①については、昨年度の設定内容は「一人一人を大切にす授業や学校行事が行われている。」であったが、学習と学校行事に関連する事項を切り分け、「一人一人に学力が身につく授業が行われている。」とした。

※②については、3年生が昨年度より12ポイント上昇し、全体としても、昨年度より2ポイント上昇し、目標値を達成した。引き続き、自殺予防やいじめ等の未然防止・早期発見のためにもSOSの出し方等について、今後も丁寧に指導していく必要がある。

※③についても①と同様に、学習と学校行事に関連する事項を切り分けた。全体で47%と低い数値となった。学校関係者評価アンケート基本項目における本校の学習指導についての回答は一定数の肯定的評価(60%)があったが、実際に学力が身についているのかを実感できなかったことが原因にあげられる。また、学校公開週間や道徳授業地区公開講座等で本校の教育活動を保護者に見ていただく機会があったが、来校者数が少なかったことも原因にあげられる。来年度は本校の取組を積極的に広報するとともに、さらに生徒一人一人を大切にす教育を行っていく。

重点目標2 学力の向上を図る教育を推進する。 ※家庭学習の定着

個々の生徒の学習課題に向き合った学習指導を実践するとともに生徒の家庭学習の完全なる定着を目指す。
 <数値による指標> 学校関係者評価アンケート、各学力調査等を分析し検証を行う。

【具現化のための方策】

- ・主体的な学習を進めるために、復習を中心とした質の高い家庭学習の取組を習慣付けるために、1週間ごとに自身の家庭学習の取組状況について振り返らせる。
- ・昨年度の結果を踏まえ、実効性のある計画を立案する。全教員が十分に共通理解をし、各教科担当より家庭学習の内容・方法について示し、生徒・保護者に配布・説明をする。
- ・生徒の主体的な学習に結び付くよう、授業の中で問題解決的な学習、体験的な学習の実践を進める。家庭学習や各自の学力にあった課題を自ら選ばせ取り組ませることで、学習成果の実感を生徒にもたせ、より主体的な学びに向かう姿勢を育む。

【改善結果】

		目標	1年	2年 (1年次)	3年 (2年次)	計(昨年)
①	先生は、自分で考えることや、課題を解決することを大切にした授業をしている。(生徒)	85%以上	83	93 (96)	100 (92)	93%(93%)
	本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業をしている。(保護者)	80%以上	50	57 (62)	86 (81)	63%(71%)
②	宿題や課題などが適切に出され、家庭学習が充実するよう工夫されている。(生徒)	80%以上	87	74 (68)	81 (65)	80%(69%)
	宿題や課題などが適切に出され、家庭学習が充実するよう工夫している。(保護者)	80%以上	52	25 (51)	65 (63)	48%(57%)
③	家庭学習が定着しつつある。(生徒)	80%以上	67	57 (76)	70 (74)	65%(71%)
	家庭学習が定着しつつある。(保護者)	80%以上	54	27 (42)	56 (49)	47%(55%)
④	水曜学習教室や家庭学習、夏休みの学習教室は、生徒の基礎学力の補充・向上に役立っている。(生徒)	70%以上	49	32 (38)	46 (31)	42%(41%)

※①について生徒は、各学年とも高い数値を示している。保護者の数値は今一步であり、授業公開を実施しているが、参観人数が少なかったため、具体的にわかりやすい授業の実践を確認いただけなかったことが一つの原因であると考え。来年度は、参観者を増やすための広報活動を検討し、さらにわかりやすい授業実践を行い、目標値の達成を図りたい。

※家庭学習の定着については昨年度に引き続き、本校で注力している取組である。②③については、家庭学習のやり方の説明及び授業内でICT機器を活用して家庭学習の提示等の工夫を行っている。その取組について、生徒は教員の工夫を一定程度、評価している。しかし、家庭学習の定着に関しては、生徒、保護者ともに数値が低くなっている。来年度は、年度当初に全校生徒に対して、各教科ごとに家庭学習の進め方のレクチャーを実施するとともに、毎回の授業の中説明を実施することを検討している。

※④の「水曜学習教室」「家庭学習」「夏休みの学習教室」については、全学年において目標を大きく下回った。今後、「水曜学習教室」「家庭学習」「夏休みの学習教室」の3つにおいて生徒の要望や需要を把握して、それぞれのねらいを明確にして取り組んでいく必要がある。

重点目標3 生徒の主体的な活動をより活性化させる。

生徒会活動やボランティア活動を推進する。そして、生徒会活動や部活動を充実させるとともに、ボランティア活動への全員の参加を目指す。

<数値による指標> 学校関係者評価アンケート、各学力調査等を分析し検証を行う。

【具現化のための方策】

- ・生徒一人一人に生徒会活動や部活動において、自治的能力や責任感、忍耐力を身に付けさせ、技術や技能を高めさせる。そして、仲間と協調し、協力してやり遂げる充足感を味わわせ、社会性や協調性を身に付けさせる。
- ・地域行事やボランティア活動への参加を推奨し、伝統文化継承や防災教育など、地域に根差した教育を充実させる。また、学校協議会及び学校運営委員会を活性化させるとともに、PTA 役員をはじめとする保護者や地域の方々の教育活動への積極的な参加を推し進め、地域教育力の一層の向上を目指す。

【改善結果】

		目標	1年	2年 (1年次)	3年 (2年次)	計(昨年)
①	基本的な生活習慣(服装や言葉遣いや礼儀など)が身に付いている。(生徒)	80%以上	83	88 (78)	93 (86)	88%(85%)
	生徒は基本的な生活習慣(服装や言葉遣いや礼儀など)が身に付いている。(保護者)	80%以上	64	77 (85)	88 (75)	75%(83%)
	生徒は基本的な生活習慣(服装や言葉遣いや礼儀など)が身に付いている。(地域)	80%以上		82 (91)		82%(91%)
②	部活動は楽しく、達成感がある。(生徒)	85%以上	82	80 (82)	70 (87)	77%(77%)
③	部活動は楽しく、達成感がある。(保護者)	85%以上	76	83 (66)	71 (74)	76%(73%)
④	「大志の学び舎」の活動及びボランティア活動は、小学校との適切な交流がなされている。(生徒)	80%以上	62	64 (51)	72 (45)	67%(54%)
⑤	様々な活動に主体的に取り組み、困難なことに直面しても自分で考え、また人の助けを借りて乗り越えていく力を身に付けている。(生徒)	80%以上	77	79 (82)	89 (71)	83%(79%)

※①については、生徒・地域とも目標を達成し、全体としての保護者は昨年度より8ポイントダウンしたものの、3年生においては生徒・保護者ともに目標値を達成している。基本的な生活習慣については、本校の生徒において身に付いている部分であるので、引き続き維持していく。

※②③については全体では昨年度並みで、特に、2年生の保護者数値が高かった。

※④については具体的な活動内容を明記「ふれあい挨拶デー」、「ふれあい読み聞かせ・ドッジボール」、小学生授業体験・部活動体験等することによって、昨年度より数値アップを図ることができた。来年度も新しい企画や内容について精選し、目標値を目指す。

※⑤については、全体として目標値を達成することができた。